

# 平成28年度事業計画書

## I 太宰府地域の歴史及び文化遺産等の調査研究及びその保護

(定款事業第1号)

### 1. 「曲水の宴」の開催

太宰府天満宮の曲水の宴は、太宰府天満宮四度の宴（正月の内宴、三月三日の曲水の宴、七月七日の七夕の宴、十月五日の残菊の宴）の一つとされ、村上天皇天徳2年（958）三月三日大宰大貳小野好古によって始められたと伝えられる。途中途絶えていたものを現代に再現し、第54回として開催する。

開催日 平成29年3月5日（日）

会場 太宰府天満宮東神苑 文書館・曲水の庭

## II 太宰府天満宮を中心とした天神信仰に係る文化遺産等の調査

研究及び保護に関すること

(定款事業第4号)

### 1. 『太宰府天満宮の近世連歌資料の調査』

学問の神であり文芸の神とも慕われる天神様。中世(室町時代)には連歌の守り神としても崇敬され、太宰府天満宮では近世(江戸時代)に至っても祈祷連歌と称して、人々の願いを社官たちが連歌に託して奉納していた。そのため、天満宮には豊富な連歌資料が所蔵されており、宝物殿では一般公開に努めている他、年間を通して、外部施設からの貸し出しや閲覧・掲載依頼は多く、近年、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の影響で、メディアに多く取り上げられるなど天満宮連歌に関する関心が高まってきていると言える。

天満宮で続いていた連歌会は、昭和9年で断絶したが、西高辻信貞名誉宮司を慕う者が集まり、昭和62年神縁連歌会がつくられた。現在は、毎回、県外から多くの研究者が訪れ盛況を博しており、正月と秋の大祭での奉納が行われている。

このような、近年の連歌復興の兆しがあるなか、太宰府顕彰会においては、近世近代における連歌の実体、及びその果たす役割りなどを後世に継承していくことを目的として、専門家を招聘し調査研究を実施するものとする。

①天満宮にのこる連歌資料の分類

「書簡目録」「書簡目録補遺」所収連歌資料の調査（約 130 冊）

②近世以降の天満宮日誌および記録にみえる連歌記事の抜粋

③「祈祷連歌」の調査

監修者 有川宜博先生

（九州大学文学部大学院修了 日本中世史専攻  
北九州市立自然史・歴史博物館 名誉館員  
福岡大学非常勤講師 行橋連歌企画委員）

### Ⅲ 青少年の教育・文化向上育成のための事業

（定款事業第 5 号）

1. 書道大会の開催

第 6 7 回太宰府天満宮七夕揮毫会

期 日 平成 2 8 年 8 月 1 日（月） 2 日（火） 3 日（水） 予定

場 所 太宰府天満宮余香殿ホール

2. 音楽会の開催

第 4 1 回青少年のための音楽会

期 日 平成 2 9 年 2 月 5 日（日） 予定

場 所 福岡サンパレス&ホール

### 3. 武道大会の開催

①第37回天神旗少年空手道大会

期 日 平成28年9月11日（日）予定

場 所 太宰府市 日本経済大学体育館

②第41回天神旗少年柔道大会

第32回天神杯福岡県女子柔道選手権大会

期 日 平成28年11月13日（日）予定

場 所 太宰府市 太宰府市総合体育館 予定

③第41回天神旗少年剣道大会

第11回天神杯中學生剣道大会

期 日 平成29年2月19日（日）予定

場 所 太宰府市 筑紫台高等学校体育館

## IV 青少年育成のための奨学金の支給

(定款事業第6号)

1. 旧筑紫地区の中学校（現在23校）より各1名を第54回「太宰府天満宮奨学生」として採用し（各中学校長より推薦）、高校在学3年間奨学金を各学期毎に支給する。

以上